

伯耆町の1年間を振り返る 2018年 注目の話題まとめ



伯耆町はこの1年、さまざまな出来事がありました。その中から、2018年の話題をピックアップしてご紹介します。

2月 伯耆町消防団 第1分団車庫完成



伯耆町消防団第1分団車庫が、溝口分庁舎横に完成し、移転しました。新しい車庫では、災害時の消防団員待機場所としての機能強化、消防防災装備品の効率的な収納機能の整備など、万が一の災害の時に迅速な対応が可能となるよう設計されています。



4月 JICA隊員が帰国報告



JICA隊員として派遣されていた、伯耆町出身の齋藤さんが、帰国報告のため伯耆町を訪れました。齋藤さんは、カンボジアで体育の授業のサポートをされました。カンボジアでは現地の先生の経験不足により授業の仕方が定着しておらず、体育の教員免許を取得した齋藤さんが体育の授業をサポートすることにしました。

齋藤さんは「今回の経験を活かし、人や地域に貢献できる仕事をしたい」と話しました。

5月 鳥取県水防訓練



米子市の日野川河川敷で開催された鳥取県水防訓練に伯耆町消防団が参加しました。訓練では、災害発生現場からの情報伝達訓練、積み土のう工法などの水防工法訓練や救助訓練などが行われ、参加者は、真剣な表情で訓練に取り組み、万が一の際の行動手順などを確認していました。

5月 柘水高原に観光客用トイレが完成



柘水高原に観光客用トイレを新設しました。近年の観光客の増加に対応するために設置したもので、外国人観光客も利用しやすいよう、案内看板に外国語を併記しています。

町を訪れる観光客に快適な環境で楽しんでいただけ効果が期待されます。

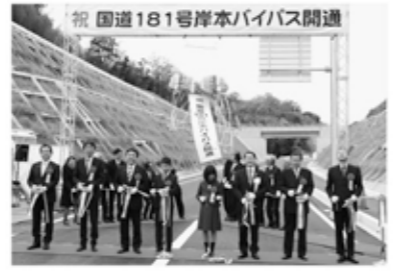


6月 柘水の魅力をSNSで発信



米子青年会議所60周年記念事業として開催されたイベントでは、参加者一人ひとりが感じた柘水の魅力を写真に取め、インスタグラムで情報を発信していました。また、夜には、懐中電灯を使って大きな星形の人文字を作り、イベントのフィナーレを楽しんでいました。

11月 R181岸本バイパス開通



国道181号線岸本バイパスが全線開通し、開通イベントが行われました。日野川に架かる伯耆大橋の渡り初め、テープカット、ウォークラリーなどが開催され、バイパスの開通を祝いました。

バイパスの開通により、交通事故の減少と交通渋滞の緩和が期待されます。



11月 新しい研修バスを配備



町の研修バスを更新し、新しいバスを配備しました。以前使用していたバスは使用開始から14年が経過し、維持費がかかるようになったため、新しいバスに更新したものです。



7-9月 伯耆町内に避難勧告・避難指示発令



7月の豪雨では避難勧告を、9月の台風24号に伴う大雨では伯耆町初の避難指示を発令しました。

伯耆町では、幸い人的被害は無かったものの、土砂崩れや農地の崩壊など、大きな爪痕を残した災害となりました。日頃の備えをしっかりと行い、いざという時に迅速な避難ができるようにしましょう。

来年の干支 亥年ってどんな年

十二支を植物の一生になぞらえ、戌年でたわわに実った果実が種子となり、土の中でエネルギーを蓄えながら次の子年の発芽へと向かう準備をする年と言われています。成長に一区切りをつけ、新たな始まりに向けての準備を行うのに適した年と言えるでしょう。

- 亥年の出来事
- 日本国憲法施行 (昭和22年)
 - 1964年オリンピック開催地が東京に決定 (昭和34年)
 - 沖縄返還協定調印 (昭和46年)
 - 東京ディズニーランド開園 (昭和58年)
 - 阪神淡路大震災 (平成7年)
 - 地下鉄サリン事件 (平成7年)

2019年が、
町民皆さまにとって
輝かしい1年と
なりますよう
心よりお祈り申し上げます



問い合わせ先 企画課 町づくり推進室
TEL:0859-68-3113